

We are スポ推

令和2年1月発行 NO.7
編集・発行／三芳町スポーツ推進委員連絡協議会

明けましておめでとうございます。
本年も地域に根差したスポ推事業、老若男女問わず誰もが気軽に楽しめるニュースポーツを企画できればと考えておりますので、よろしくお願ひします。
さて、昨年のスポ推事業では、今年開催される**東京2020オリンピック・パラリンピック**に着目した様々な体験会等を実施してきました。

活動記録



◇5月11日(土) 第40回 子どもフェスティバル

三芳町はオランダ女子柔道チームを応援します!!

スポ推では毎年「チャレンジスポーツコーナー」を担当し協力しています。
チャレンジスポーツコーナーでは①握力 ②立ち幅とび ③反復横とび ④50m走 の4つの項目を測定することができます。オリンピックの世界記録も掲示しました♪
そして、チャレンジ終了後には“うまい棒” (何味が出るかはお・楽・し・み♪)のお土産をつけました。その中には激レアとも言われる、通常価格10円の2倍もする(20円)“プレミアムうまい棒”入れさせていただきました♪
額が小さいからピンときませんが、2倍ですから(笑)



◆6月7～8日(金～土) 関東スポーツ推進委員研究大会 in 埼玉

9年に一度の関東スポーツ推進委員研究大会を今年は埼玉県で開催されました。※
関東地域に長野、山梨を加えた1都8県から2194名の推進委員が埼玉県に集結しました!! ※ 関東9都県(東京都、栃木県、山梨県、千葉県、群馬県、神奈川県、長野県、茨城県、埼玉県)で毎年開催され、昨年の開催地は東京都でした。

入間地区(三芳町の西内会長が兼務)の協議会では1日目の式典の部を担当し、開会前のアトラクションでは、城西大学附属川越高等学校・城西川越中学校の和太鼓「櫂」の迫力ある演奏、続いて西武台高等学校のバトン部「プリスクリー」の息のあった演技、両校とも若さ溢れるパフォーマンスに感銘を受けました。

また、基調講演は東洋大学陸上部監督の酒井 俊幸氏による「その一秒をけずりだせ」というテーマで、東京箱根往復大学駅伝競走の苦労話や各選手の育て方等色々なお話をいただきました。

研究大会2日目は、他市町村等と意見交換・情報交換等を行い、今後の三芳町での活動に活かしていきたいと思ひます。



◆8月4日(日)障がい者スポーツ体験会(新規事業)

・高橋 秀克 氏(講演): ロンドン2012パラリンピック
男子柔道73kg級 第5位入賞

・実技体験: パラリンピック競技ボッチャ、障がい者スポーツ卓球バレー
前半は、高橋秀克氏によるパラリンピックでの話や、パラ柔道の特徴
などなど貴重なお話が聞けました。

さらに会場に畳を敷いて、実際に投げ技を披露していただいたのですが、さすがパラリンピアン!! 組んだ瞬間、会場に緊張が走りました。

後半は、ボッチャ、卓球バレーの実技体験を行いました。どちらの競技もルールが分かりやすく、障がいスポーツを身近に感じる良い機会になったのではないのでしょうか♪



◇8月10日(土)三芳町在住永田裕幸選手から学ぶパラアスリート講演会(新規事業)

・永田 裕幸 氏(講演): リオデジャネイロ2016パラリンピック 車椅子バスケットボール日本代表
不慮の事故から自暴自棄になった頃、障害者リハビリテーションセンターでの人との出会いが、そして、車椅子バスケットボールとの出会い・・・と様々な体験談を話していただきました。参加者の方には、実際に競技用の車椅子に座りドリブルしたり、簡易式ゴールでフリースロー勝負を行いました。みらいくんも(笑)

知っていました? 車椅子バスケットボールの車椅子にはブレーキがないので、素手で直接タイヤを停めるらしいです(驚)
想像しただけでも痛い、痛すぎます・・・。



▼ 競技用車椅子の特徴紹介



◆8月18日(日)親子ラケットテニス教室

毎年恒例の満員御礼事業となります。当日は猛暑だったため、熱中症対策として大きな水筒や飴を用意しました。この暑さにも関わらず18ペア(36名以上)の親子が参加してくださいました。



◇11月24日(日)福祉まつり

福祉まつりで『障がい者スポーツ体験コーナー』を初出展しました。8月の体験会等で得た知識等をもとにボッチャと卓球バレー実技体験、スポ推の活動記録の展示をし当日は悪天候により規模縮小での開催となりましたが、午後には天候も良くなり、約300名以上の方がスポ推のコーナーに立ち寄り、中には複数回も来てくれるお子さんもいました♪

